



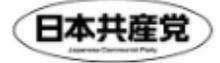
# 久保田由夫 ほっと通信



NO. 106  
2020. 11月号  
【部内資料】

発行 くばたよしお事務所 ☎42-6361 fax 42-5630

<久保田由夫のブログ・ツイッター・フェイスブックもご覧ください>



## <季節の写真>

ススキは、イネ科ススキ属の植物で秋の七草の一つ。(内村川沿い)

◆2017年7月、国連会議で採択された核兵器禁止条約の批准国が50に達し、2021年1月22日発効することが確定しました。核兵器禁止条約は、人類史上初めて核兵器を違法化する内容であり、日本など条約に加わらない諸国に対して、大きな政治的・道義的な拘束力となります。唯一の被爆国として日本政府の姿勢が厳しく問われています。◆小学校の運動会への案内が来て、久しぶりに学校へ。子どもたちもコロナ対応で大変な年になりましたが、元気な姿に励まされました。◆市議会主催の議会報告会や各種講演会などはオンラインを使った方法へシフトしています。心配なのは、利用できない方への配慮が必要なこと。◆住民自治のあり方を問われた「大阪都構想」は、再び否決された。制度いじりではなく、政令市としての役割を発揮することが民意。コロナ危機に全力で取り組まなければならない時期に、市民に対立と分断を持ち込んだ維新の会の責任は大きい。(くばた よしお)

## 「環境影響評価(アセスメント)に本年度着手する」(広域連合長)

「環境影響評価については、説明会開催の内容を受け、地元関係団体で構成する資源循環型施設建設対策連絡会の皆さまにもご理解を得られたことから、今年度中に着手する」(土屋陽一上田地域広域連合長あいさつ)  
※一般質問に答弁する土屋連合長



### <資源循環型施設建設についての資料>

#### ◇これまでの経過

年月日	経過および内容
4月21日	資源循環型施設検討委員会から広域連合長へ協議結果が報告される。
7月6日	資源循環型施設建設対策連絡会との懇談会
8月23日	資源循環型施設建設に関する説明会(上塩尻自治会:35人出席)(秋和自治会:51人出席)
8月29日	上記同様の説明会(下塩尻自治会:22人出席)
9月6日	上記同様の説明会(諏訪部地域:22人出席)
9月27日	上記同様の説明会(上田市西部地区自治会連合会:27人出席)
10月1日	上記同様の説明会(上田地域広域連合圏域全体:40人出席)
10月5日	上記同様の説明会(上田地域広域連合圏域全体:43人出席)【7会場合計 240人出席】
10月16日	資源循環型施設建設対策連絡会との懇談会 環境影響評価着手の受け入れ

(上田地域広域連合議会 全員協議会資料より:10月23日)

### <広域連合の3クリーンセンターの概要>

施設名	上田クリーンセンター	丸子クリーンセンター	東部クリーンセンター
処理能力	200トン/日 100トン/24時間 ×2炉	40トン/日 20トン/16時間 ×2炉	30トン/日 15トン/8時間 ×2炉
処理方式	全連続燃焼式 (24時間連続運転)	準連続燃焼式 (16時間連続運転、間欠)	機械化バッチ燃焼式 (8時間連続運転、間欠)
稼働年月日	1986年4月	1992年4月	1993年9月
搬入市町村	上田市(上田・真田地域)、青木村	上田市(丸子・武石地域)、長和町	東御市

## 各段階での情報公開・意見交換、生ごみリサイクル推進、住民の意見を反映したごみ処理広域化計画に

上田地域広域連合が最重要課題として位置付けている資源循環型社会を構築する中核施設である資源循環型施設建設の課題については、「環境影響評価を今年度中に着手する」ことが表明され、新たな段階に進みました。この間の関係者による真摯な協議に対して心より感謝いたします。

環境影響評価(環境アセスメント)は、長野県条例が定める手順である「配慮書の手続き」「方法書の手続き」「準備書の手続き」「評価書の手続き」にそって着実に進めること。あわせて、各段階において情報公開や意見交換などを行うことが必要です。

また、ごみ減量化・資源化については、上田市において「生ごみリサイクル推進プラン」(令和2年8月)を策定したことから、この計画にそって市民協働で確実に事業を推進することが求められています。

さらに、上田地域広域連合は「第4次ごみ処理広域化計画(案)」(令和3年~令和12年までの10年間)が、10月定例議会で公表しました。今後、圏域内の皆さんからのパブリックコメント(意見公募)を実施する予定です。圏域内の住民の意見や質問などに適切に対応するとともに、「第4次ごみ処理広域化計画(案)」に反映することが重要になります。  
(上田地域広域連合議会議員 久保田由夫)